

令和四年六月二十三日開催

第二十一回総代会挨拶

代表理事組合長

市川 平治



本日は、高崎市市長富岡賢治様、県西部環境森林事務所長剣持則之様を始め、ご来賓多数のご臨席を賜り、烏川流域森林組合第二十一回通常総代会を開催できますことを本当に嬉しく思います。

多少の落ち着きは見られるものの、まだまだ猛威を振るうコロナ禍の中、万全の対策をとりつつ、こうしてご来場くださったご来賓、総代各位を始め関係者の皆様に心から御礼を申し上げます。

ご承知のとおり二年間のプランクを挟んだ対面開催でありますが、その間、関係各位のご指導ご協力を頂き、ほぼ順調に組合の運営を進めてこられたことを先ずもってご報告申し上げます。

特に、林産事業においては高崎市当局の手厚いご支援により、高性能機械の導入をすすめ、年間一万mの目標達成までもう一步のところまで生産を伸ばすことが出来ました。

高崎市当局のご理解に改めて感謝申し上げます。

さて、令和三年度における組合の事業内容につきましては、総会議案のなかで詳しくご報告致しますが、一、二件、私からご説明申し上げてご理解を頂きたい事案がございます。

先ず第一点は、出資金に対する配当を実施し、配当金によって増資をさせて頂きたいというものでございます。

今期も事業的には、対前年比一一・五・九%の増収となりましたが、その一方、組合員は十二名減の一、七九六名と、ついに一八〇〇名を割り込みました。

そのような中で、いかに組合員意識を高め、組合事業に関心を持って頂くかは、大きな課題であります。

その対策として、組合員さんへの積極的な働きかけが重要であることは当然ですが、今、たとえ僅かでも配当を実施することにより、組合活動への関心を高めて頂くことも有効な方策であらうと考える次第です。

さらに、配当を出資金に振り替えて頂ければ、経営基盤の充実につながる利点も考えられます。

この件につきましては、県林業振興課や県森林組合連合会のご指導を仰ぎながら、検討を進めて参りました。総代の皆様には、是非ご賛同頂きますようお願い申し上げます。

また、議案第十二号では、森林組合系統運動方針に沿った、二〇三〇年度までの『烏川流域森林組合長期ビジョン』をご審議いただきます。

この長期ビジョン策定にあたっては、職業として誇りの持てる林業、職場として遣り甲斐のある森林組合の在り方、そして、森林行政と協調して組合活動の成果を如何に組合員に還元できるかを、若手職員の意見も活かしつつ議論して参りました。

このビジョンの具現化につきましても、関係各位の今後の見守りと、ご指導を宜しくお願い申し上げます。

結びに、森林の育成・保護・森林資源の活用という、私共に課せられた使命の大きさを改めて認識し、さらなる努力を重ねることをお誓い申し上げて、第二十一回総代会開会のご挨拶とさせていただきます。

第二十一回
通常総代会開催

榛名文化会館

令和四年六月二十三日

総代会提出議案

○第一号議案

令和三年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案承認について

○第二号議案

令和四年度事業計画書承認について

○第三号議案

経費の賦課金額及び賦課金徴収時期決定について

○第四号議案

造林補助金取扱い手数料率決定について

○第五号議案

一組合員に対する債務保証の最高限度決定について

○第六号議案

借入金 の 最高限度額決定について

○第七号議案

役員報酬決定について

○第八号議案

余剰金の預け入れ先金融機関決定について